



## AEDが入りました!

市川 健一郎 (内科・健康管理センター 医長)

### ☆ AEDって何?

AEDは正式には Automated External Defibrillator (自動体外式除細動器) といいます。自動的に危ない不整脈を感知し電気ショック (除細動) をかける器械です。

### ☆ なんでAEDが必要なの?

目の前で、突然意識を失って倒れた人の大半は、心室細動 (いわゆる心臓麻痺) であるといわれています。心室細動をもとに戻すには、電気ショックをかけるしかありません。また、心室細動になってから 1 分たつごとに蘇生できる確率が7-10%ずつ低下していくといわれています。その意味で、心室細動で倒れた人には 1 分でも早く除細動をすべきです。

### ☆ AEDの使い方

まず、電源をいれます。すると、器械がしゃべり始めるのであとは、指示に従ってやればOKです。電極パッドを貼ってAED本体に接続すると心電図の動きを感知してショックが必要か判断します。ショックが必要な場合、患者さんからみんな離れたことを確認して、ショックのボタンを押します。ショックの適応がない場合は、パッドを貼ったまま、心臓マッサージと人工呼吸を行います。院内であれば医師や看護師が到着し、心電図モニターが装着されるまで、院外であれば、救急隊が到着し除細動器に接続するまでパッドは貼ったままにしておき電源も入れたままにしておきます。当院では臨床工学士が後日解析を行います。

### ☆ 誰がつかえるの?

講習で訓練を受けた人なら、医療関係者でな

くても使えます。

### ☆ 大事なのは心臓マッサージ

誰かが目の前で倒れ、意識を失っていたら、すぐに人を呼びAEDを持ってきてもらいま



心臓マッサージをやりながらAEDをつける(講習で)

す。(院外であれば119で救急車を呼びます。) 呼吸をしていなければ2回人工呼吸をした後、心臓マッサージを開始します。しっかり胸が沈む程度に強く 1 分間に100回のペースで心臓マッサージ30回したあと人工呼吸2回します。以後はこの繰り返し (心マ30回、呼吸2回) です。心臓マッサージだけでは心室細動を戻すことはできませんが、除細動が有効である時間を延ばすことができます。また脳死や植物状態といった、脳障害の予防につながります。

### ☆ 講習を受けることをお勧めします

心臓病の患者様のご家族の方は、ぜひ、心肺蘇生 (心臓マッサージと人工呼吸) とAEDの使い方の講習を受けられることをお勧めいたします。(万一、おうちで倒れても救える可能性が高まります!) 現在、東京消防庁 (各消防署) や日本赤十字で一般の方向けの心肺蘇生法の講習会が開かれています。



◎当院外来の看護師、事務職員は、心肺蘇生法とAEDの使用法の講習は受講済みです。

市川医長 (AEDを手にとって)